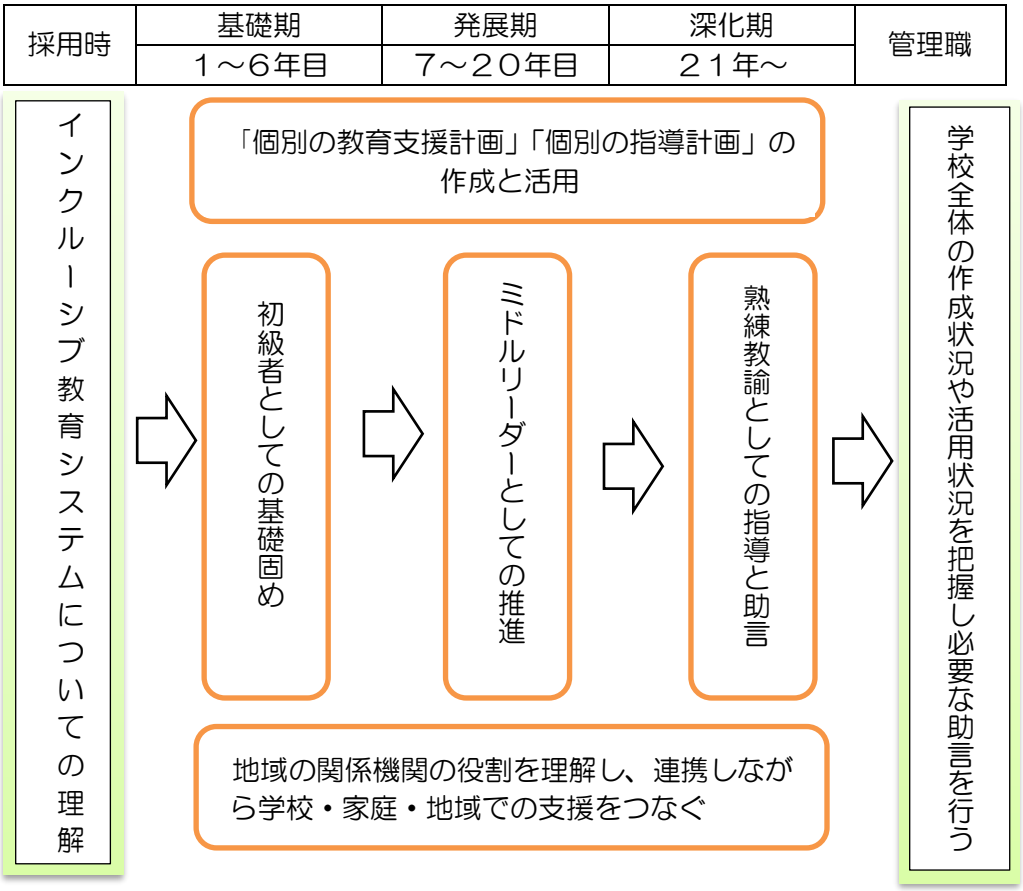
特別支援教育のキャリアステージと特別支援マスター指標　　【別紙２】

本県の教員等人材育成方針で示された指標は、「目指すべき香川の教員像」に基づいて、職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質を明確化し、キャリアステージに応じて体系的に絶えず学び続ける意欲を喚起するものです。

このうち、障害により特別の支援を必要とする子供への対応について、教員のキャリアステージに応じて身に付けるべき資質を「特別支援マスター指標」として示しました。

〇キャリアステージ



〇特別支援マスター指標　「子どもから学び、協働して取組む力の育成を目指して」

キャリアステージ / 観点	基礎期 １～６年目	発展期 ７～２０年目	深化期 ２１年～
子供理解 （観察やアセスメントに基づく実態把握）	障害による困難さについて、先輩教員の助言等を参考に理解する。	障害による困難さについて多方面からの情報を収集しながら総合的に理解する。	障害による困難さについて確かな理解力と経験を生かし、他教員に適切に提案できる。
学習指導 (指導目標、内容、方法の設定)	支援の在り方について基本的な知識や技能を身に付ける。	専門的な知識や技能を高めながら、集団の中での個に応じた支援ができる。	豊富な経験を活かしながら、適切な支援の在り方を他の教員に提案できる。
参画・協働 （関係者と連携しながら行動する力）	保護者や関係機関との連携の大切さを理解し管理職や先輩教員と相談しながら連携を進める。	保護者や関係機関と積極的に連携するとともに、協働的な支援チームの一員としての役割を果たす。	保護者や関係機関と共に情報共有を図りながら、協働体制づくりにおいてリーダーシップを発揮する。

※本指標は特別支援教育に関する研修会において参加者に周知し、研修で身に付ける特別支援教育の資質についての意識付けを行う。なお、主幹教諭、指導教諭、管理職は深化期を目指す。